

トヨタ生産方式のモノづくりの真髓を学ぶ！！

トヨタ生産方式の進め方 通信教育講座

毎月1日開講



基本テキスト：「トヨタ生産方式の進め方」

作成添削責任 (株)T.M.A. 代表取締役シニアコンサルタント 菅原茂比古

サブテキスト：「トヨタ生産方式」

元トヨタ自動車(株)副社長 大野耐一氏

本講座の特徴

- ◆ 6ヶ月でトヨタ生産方式の基礎的な考え方を学べます
- ◆ 1ヶ月毎に学習のポイントをわかりやすく理解できます
- ◆ 実地指導経験からの改善の進め方を学べます
- ◆ 受講期間中の質問は自由です

受講者の声

- ◆ トヨタ生産方式の基本が理解出来ました
- ◆ わからないところを、質問したところ、丁寧な解説でよくわかりました
- ◆ 自社でも1個流しに挑戦したいと思いました

受講のお勧め

必要なモノを、必要なだけ、必要な時に、しかも、短いリードタイムでモノを造る

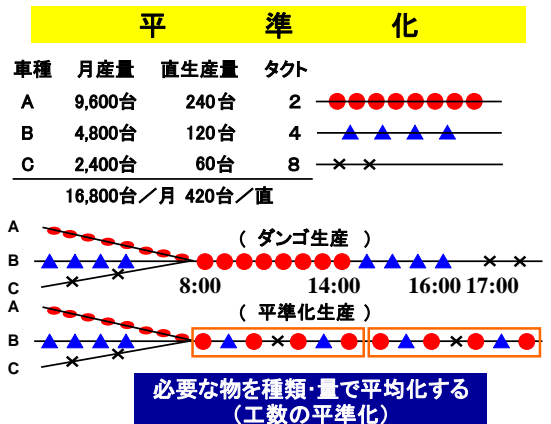
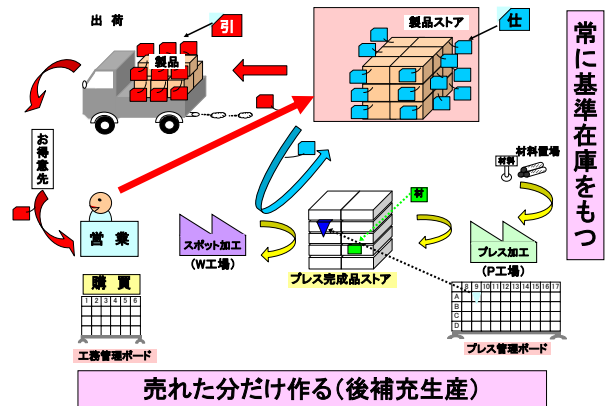
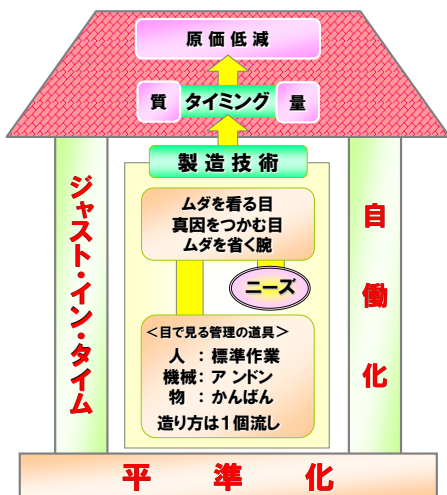
モノを安く造ることは、決してたくさんモノを造るものではありません。変種変量でも安く早くモノを造る事はできます。どの業種にも対応可能な「トヨタ生産方式」をお勧め致します。

トヨタ生産方式は、ひと口で言えば「原価を下げる製造技術」です。

平準化を土台として、「ジャスト・イン・タイム」とにんべんのついた「自動化」を2本の柱として徹底的なムダの排除に取り組みます。一般的にトヨタ生産方式＝かんぱん方式だと誤解されがちですが、かんぱんはムダを見つける一つの道具に過ぎません。トヨタ生産方式では、設備にはアンドン、物にはかんぱん、人には標準作業と言う3つの管理の道具を使います。

「トヨタ生産方式とは何か？」と言う基礎から、具体的にかんぱん導入による在庫削減のノウハウまでを本講座で学習致します。

テキスト内容の一例 基本テキストより抜粋



基本テキスト「トヨタ生産方式の進め方」の内容

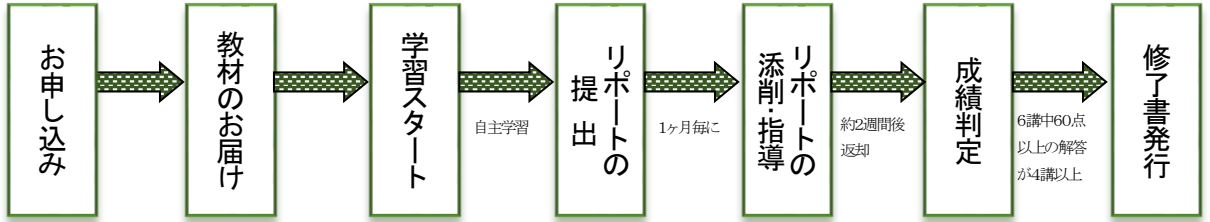
第1講 トヨタ生産方式の基本的な考え方		
I 企業存続のために 1 企業の使命 2 売値はお客様が決める 3 儲けるための2つの方法 4 トヨタグループが進める2つの活動	5 停滞の改善と1ヶ流し II トヨタ生産方式 1 トヨタ生産方式の定義 2 製造技術とは 3 ムダ	III トヨタ生産方式図解 1 平準化 2 ジャスト・イン・タイム 3 自動化
第2講 標準作業		
I 標準作業 1 標準作業の定義 2 標準作業 目的	3 標準作業と作業標準 4 標準作業の前提	5 標準作業の3要素 6 標準作業作成の手順
第3講 後補充生産の進め方		
I 一気に通貫 1 一日に必要な数量を決める 2 短納期の部材購入 3 作業手順を決める	4 ストアを作る 5 順序生産と後補充生産 6 ストアの引取り方式 7 計画の自動化 8 順序生産列の設定	9 基準在庫の設定 10 層別管理 11 ロットの決め方 12 必要とするすべての部品の必要量を毎日作る
第4講 品質管理と再発防止		
I トヨタの品質管理 1 工程で品質を造り込む 2 人材育成 3 初期品質管理 4 作業標準の遵守 5 条件管理	II 5回のなぜなぜ 1 トヨタ生産方式の問題解決の特徴 2 問題解決の5原則シート 3 ムダの追求(5W1H) 4 5W1Hと5回のなぜ	III ポカヨケ方式 IV 検査 1 品質確認 2 不具合の対策／再発防止 V 品質保証
第5講 5Sと仕事の教え方		
I トヨタ生産方式5S 4S+1S 1 なぜ今5Sなのか 2 管理	3 5S3 定 4 5Sを成立させるためには 5 5S実践の進め方	II トヨタの人材育成 1 監督者の役割 2 仕事の進め方 3 仕事の教え方
第6講 改善の進め方		
1 改善の進め方 2 レイアウトの考え方	3 改善事例 4 物と情報の流れ	5 評価 6 手順の評価

※ 基本テキストの内容については、一部変更になる場合があります

サブテキスト「トヨタ生産方式」の内容

1. ニーズからの出発	2. トヨタ生産方式の展開
<ul style="list-style-type: none"> ● トヨタ生産方式の2本の柱 ● 原価低減が目的 ● 生産の流れをつくる ● 初めにニーズありき 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「なぜ」を5回繰り返すことができるか ● ムダの徹底分析 ● スーパーマーケットからヒント ● 「平準化」に挑む ● 改善を促進する「かんばん」 ● フルワークシステムで武装 ● 「必要数」こそオールマイティー ● 年功の設備を大切に ● 0.1人でも1人である ● 「もうけるIE」の提唱
3. トヨタ生産方式の系譜	4. フォード・システムの真意
<ul style="list-style-type: none"> ● 科学性と合理性のトヨタイズム ● 工場はバラックでも良い機械を ● 日本式製造方式の追求 ● 価値ある商品づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ● フォード式とトヨタ式 ● ロットは小さく段取り替えはすみやかに ● 標準とは自らつくり出すもの ● 治療より予防 ● 量とスピードからの脱却
5. 低成長時代を生き抜く	
<ul style="list-style-type: none"> ● 成長のなかで育てたシステム ● 低成長時代に生産性をあげるには ● 古人の柔軟な頭に学ぶ 	

通信教育の受講・学習の流れ



● 学習テキスト

基本テキスト：「トヨタ生産方式の進め方」 6単元

(株)T.M.A. 代表取締役シニアコンサルタント 菅原茂比古 編集(内容前頁参照)

サブテキスト：「トヨタ生産方式」

元トヨタ自動車(株) 副社長 大野 耐一 著 (内容前頁参照)

● 学習期間

6ヶ月

● 受講料

1名につき 25,500円+税

● 定員

100名

● 切り

毎月25日

● 申し込み方法

インターネットでのお申込み…… URL <http://www.tmainc.co.jp> からお申込下さい

FAXでのお申込み…… 下記申込書に必要事項ご記入の上、お申込下さい

受講料は、教材到着後 10 日以内に銀行振込もしくは現金書留で御送金下さい

● 申し込み先

(株)T.M.A. 〒134-0085 東京都江戸川区南葛西 1-12-1-201

Tel (03)5658-3201(代) Fax (03)5658-3202 E-MAIL tsusinkyouiku@tmainc.co.jp

キリトリせん

____月開講「トヨタ生産方式の進め方通信教育講座」申込書

受講料(1名につき) ¥25,500+税 申込者数 _____ 名

業種	
従業員数	

会社名 _____ TEL _____

所在地 〒 _____ FAX _____

担当者 _____ 部 _____ 課 _____ 御芳名 _____

E-MAIL _____

テキスト、解答等のご送付先を下記にご記入下さい。またご記入頂きました住所について送付先の種別の個所に○をお付け下さい

部署名	受講者御芳名	ご送付先住所	
	ふりがな.....	〒	TEL: _____ 送付先: 自宅・会社
	ふりがな.....	〒	TEL: _____ 送付先: 自宅・会社
	ふりがな.....	〒	TEL: _____ 送付先: 自宅・会社

FAX 送信先 ⇒ 03-5658-3202